

藤久保地域拠点とは

藤久保小学校、その他周辺公共施設の更新を契機として施設の集約化・複合化を検討していきます。



～集い・学び・育つ～ 輝く未来創造拠点

- ・公共施設等の複合化と安心安全で環境に優しい賑わい・交流の場の創出
- ・機能連携による教育、子育て、芸術文化、健康・福祉のさらなる充実
- ・民間活力を導入した地域の活性化と財政負担軽減の両立

藤久保地域拠点における公共施設

- ①藤久保小学校
- ②藤久保児童館
- ③学童保育室(藤久保第1・第2)
- ④子育て支援センター
- ⑤ファミリーサポートセンター
- ⑥図書館
- ⑦藤久保公民館
- ⑧保健センター
- ⑨藤久保出張所

藤久保地域拠点における公共施設以外で導入を検討する施設

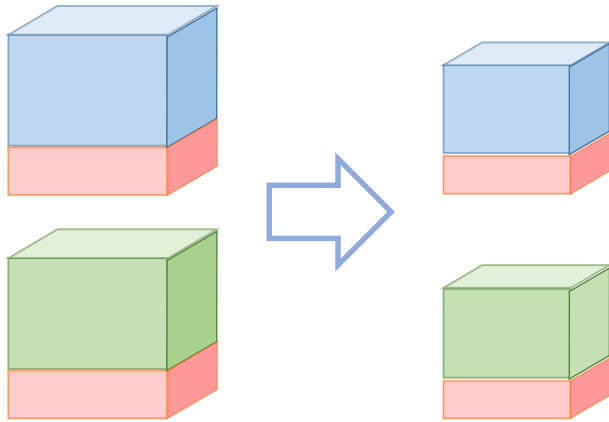
- ①ふれあいセンター
- ②商工会館
- ③社会福祉協議会
- ④民間施設

なぜ複合化なの？

今後、施設を更新する場合、将来的な財政状況や、社会構造（人口減少）に対応するため、一様に**縮小化**が必要です。

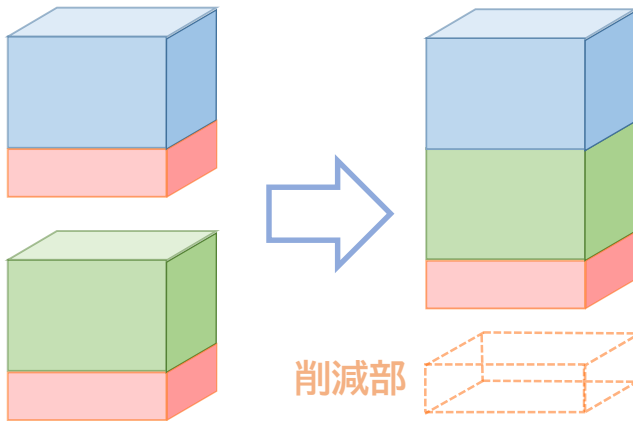
※町の公共施設マネジメントでも**15%の床面積削減目標**があります。

◎各施設を単純更新とした場合

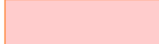


各施設を一様に縮小化するため、**機能部分も縮小**され、サービスの維持が困難となる。

◎複合化による更新とした場合



重複する共有部を縮小化の面積に充てるため、機能部分を維持できる。

 …共用部とは、エントランスや廊下、トイレなど、各施設が共通的に保有している共用可能な部分

複合化により得られる効果は…

- ・施設全体では、面積削減ができ、サービスが維持できる。
- ・各施設間の事業、取組と連携しやすくなる。
- ・管理の一元化や人員配置の削減ができ、LCC(ライフサイクルコスト)面からも、長期的な財政に有利となる。
- ・複合化により生じた余剰地の収益化を図れる。

検討経過

平成24年度	公共施設マネジメント策定準備 藤久保地域拠点ゾーンにおける公共施設の 方向性について検討(WT)
平成25年度	公共施設マネジメント基本方針
平成26年度	公共施設マネジメント基本計画 公共施設マネジメント基本計画改訂版 (公共施設等総合管理計画)
平成27年度	藤久保公共施設ワークショップ開催
平成28年度	まちづくり懇話会 (平成28・29・30・31年度 意見聴取)
平成30年度	藤久保地域拠点施設基本構想策定
令和元年度 ～ 2年度	藤久保地域拠点施設基本計画策定予定 検討会議・検討委員会・検討部会設置 利用者団体ヒアリング実施 PFI等可能性調査実施予定



Q なぜ藤久保拠点整備事業が始まったのか？

A 藤久保小学校が更新時期を迎え、周辺の公共施設についても、今後随時更新時期を迎えることから、総合計画、公共施設マネジメント基本計画改訂版(公共施設等総合管理計画)の方針に沿って、藤久保地域拠点ゾーン全体の整備事業の検討を開始しました。

Q どんな施設ができるの？

A 詳細は検討中ですが、持続可能なまちの中心施設としての役割を果たすことができるよう未来創造の視点を取り入れた複合施設を目指します。また、多世代にわたって多くの人々が交流する賑わいの場として役割も担います。

Q 駐車場は増えるの？

A 現在の藤久保エリアは、各施設の事業が重なると駐車場が不足するケースがみられ、多くの意見をいただいています。複合化することによりスペースを効率的に利用し、駐車場の確保に努めます。

Q いつできるの？

A 現在、2年間をかけて基本計画策定、PFIの可能性調査を実施しています。今後、事業手法の検討を経て事業者の選定、契約、設計・工事着手に進んでいく予定です。事業手法にもよりますが2025～2026の供用開始を目指しています。